

研究番号

MNH R 6 -4

## 臨床研究に関する情報

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年厚生労働省・文部科学省・経済産業省 告知第1号）の規定により研究内容の情報公開をすることが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら以下のお問い合わせ先へご照会ください。

研究課題名； **本態性振戦における生活行為と上肢機能、高次脳機能との関連**

主任研究者名・所属 **国立宮城病院 脳神経外科 仁村太郎**

研究目的 **本態性振戦の患者さんにおいて、食事、整容などの日常生活動作において障害を呈することは報告されています。しかし日常生活動作以外でどのような生活行為が障害をうけているのか、またそれらの生活行為がどのような要因で障害されているのかの報告は少ないです。障害されている生活行為を患者さんから聴取し、上肢機能、高次脳機能との関連について調査します。**

研究方法

対象となる患者さん

令和3年10月～令和4年3月に国立宮城病院で経頭蓋MRIガイド集束超音波治療を受けた方で、上肢機能検査、パーデュペグボード、握力、MMSE、Moca-jの検査を行った患者様

利用するカルテ情報

**上肢機能検査（STEF）、パーデュペグボード、握力、MMSE、Moca-j**

研究実施期間

この研究について研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項を除いたうえでお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの情報に関しては名前・住所など患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また研究結果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

連絡先；

担当者（所属）； **国立宮城病院 脳神経外科 仁村太郎**